

# 双鶴同窓会 卒業 30 周年記念同窓会について

令和 4 年 4 月

京都府立西舞鶴高等学校双鶴同窓会

京都府立西舞鶴高等学校とその前身である旧制舞鶴中学校・舞鶴第一中学校(舞中)並びに舞鶴高等女学校・舞鶴第一高等女学校(舞女)の卒業生で組織する双鶴同窓会においては、慣例として卒業 30 年を迎えた年に当該学年同窓生が集い懇親を深める卒業 30 周年記念同窓会を開催することとしている。

また、30 周年記念同窓会開催に係る取組をとおして双鶴同窓会との連携を深めることで、双鶴同窓会の活動に学年理事と評議員が積極的に参画する契機としている。

卒業 30 周年記念同窓会を企画運営するにあたっての留意事項とその後の双鶴同窓会への参画については、おおよそ下記のとおりである。

## 記

### 1 卒業 30 周年記念同窓会を企画運営するにあたっての留意事項

(1)日時:1 月 2 日 午後(慣例)

(2)会場:舞鶴グランドホテル(慣例)200 人規模収容可能な施設

(3)参加者:卒業 30 年を迎えた双鶴同窓生とその学年担任

双鶴同窓会本部役員並びに支部役員 学校管理職並びに同窓会担当

(双鶴同窓会会長、西舞鶴高校校長、京都・阪神・東京支部長は来賓として案内)

(4)実行委員会:前年の夏までに当該学年で実行委員会を組織し、準備を開始

(5)組織体制:実行委員長、副実行委員長、事務局長、副事務局長、事務局員

(6)準備: 実行委員会組織体制と開催日時・会場が決定次第、双鶴同窓会事務局(高校内)に報告。

同窓会ホームページ掲示板に 30 周年記念同窓会開催の概要を掲載

同窓生と同時に来賓にも案内発送。住所は双鶴同窓会事務局(西舞鶴高校内)に問い合わせ。

同窓会旗:双鶴同窓会旗を事務局から借用 終了後、事務局に返却

(7)記念事業:参加者の同意を得て 30 万円を双鶴同窓会に寄付し、母校教育活動を応援する。(慣例)

(記念同窓会案内状とともに寄付依頼(1 口 3,000 円)を同封)

寄付をする場合には、西舞鶴高校事務長にその旨を連絡。

その際に実行委員長の氏名を連絡。同窓会報『双鶴』にその件を掲載するため。

(8)開催記念冊子:当日の様子を記録した開催記念冊子を実行委員会で作成し、後日、参加者に配布

## 2 30周年同窓会終了後の双鶴同窓会への参画（申し送り事項）

### (1) 理事及び評議員の選出

◎それぞれ複数名を選出。理事と評議員は兼任できない。

◎理事： 毎年6月第2土曜日に開催される双鶴同窓会理事会と総会に出席

◎評議員：毎年6月第2土曜日に開催される双鶴同窓会総会に出席

◎同窓会名簿には、卒業時に選定された同窓生が理事、評議員が記載されています。

この期に見直して頂き、希望者を除き、30周年同窓会実行委員会から双鶴同窓会の理事、評議員になって頂きます。

### (2) 学年代表メール連絡員の選出

双鶴同窓会では、ホームページで近況等をお知らせしています。各学年1名に更新連絡が届くよう学年代表メール連絡員を決めて頂き、ここから各クラス担当者、そして、各同窓生へ連絡できるシステムを構築して頂くようお願いしています。（LINEでも結構です。）

### (3) 編集委員の選出

総会終了後、双鶴同窓会総会（6月開催）へ向けて、会報「双鶴」の作成に取り掛かって頂きます。

編集委員は、理事や評議員と兼任可能です。

原稿依頼・集めと校正が主な仕事です。

同窓会終了後、遅くとも3月中旬までに選出し、事務局へ連絡すること。

### (4) 総会懇親会に出席の義務

理事、評議員、学年代表メール連絡員、編集委員を紹介します。実行委員長には挨拶があります。

### (5) 要注意！！

理事・評議員、学年代表メール連絡員（メールアドレス）の選出は、事務局へ氏名、住所、電話番号を連絡する。

編集委員、同窓会終了後、遅くとも3月中旬までに選出し、事務局へ連絡すること。

### (6) 次の学年への引継ぎ

以上を申し送り事項とし、次年度実行委員会（予定も含む）に確実に連絡し、会長又は、事務局に氏名等を連絡する。